

令和6年度進行管理・評価シート
松本市歴史的風致維持向上計画（第2期）（令和3年5月19日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 庁内部局間(市長部局と教育委員会)の連携		1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 屋外広告物の規制		2
2 重点区域における景観計画の活用		3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
□ 歴史的建造物等の保存と活用に関する事業		
1 松本城南・西外堀復元事業		4
2 国宝松本城天守等耐震対策事業		5
3 国宝松本城天守防災対策事業		6
4 松本城堀浄化対策事業		7
5 国宝旧開智学校校舎耐震改修事業		8
6 歴史まちづくり事業		9
7 松本城世界遺産登録推進事業		10
□ 歴史的建造物等の周辺環境に関する事業		
8 松本城周辺道路整備事業		11
9 市役所庁舎建替事業		12
10 松本城を中心としたまちづくり事業		13
□ 歴史的まちなみ景観に関する事業		
11 景観計画推進事業		14
12 空き家対策事業		15
□ 伝統行事など伝統文化の継承に関する事業		
13 文化財記録保存事業		16
14 市民学芸員養成講座		17
15 松本城学びと研究事業		18
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用について		19
2 文化財の修理について		20
3 文化財の保存・活用を行う施設について		21
4 文化財の防災について		22
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1		23
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 歴史まちづくりの効果について		24

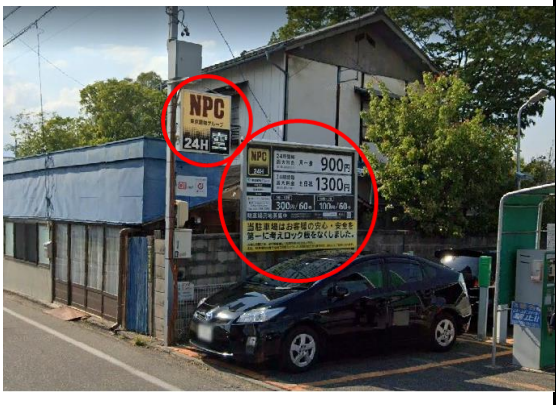
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)		25
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
庁内部局間(市長部局と教育委員会)の連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	歴史的風致の維持向上を図るためには、様々な分野の多岐にわたる施策を実施する必要があり、関係各課との意識共有が不可欠です。そのため、計画の推進に当たっては事務局をお城まちなみ創造本部と文化財課が担当して、各事業担当課と庁内の横断的な連携をとり、法定協議会である松本市歴史的風致維持向上協議会において協議を行って、計画の円滑で効果的な進捗を図ります。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
事務局の総合戦略局お城まちなみ創造本部と文化財課が連携して事業を推進している。 歴史まちづくりに関する庁内会議 計4回実施 令和6年7月23日 令和6年度第1回松本市歴史的風致維持向上協議会を開催 令和7年2月13日 令和6年度第2回松本市歴史的風致維持向上協議会を開催			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	庁内関係各課と歴史まちづくりの意識共有を進めていき、横断的な連携による計画の推進を図る。		
状況を示す写真や資料等			
 令和6年度第1回歴史的風致維持向上協議会 日時 令和6年7月23日(火)午前10時00分から 場所 松本市立博物館 講堂			
歴史まちづくりに関する庁内会議実績(計4回) ・令和6年6月26日 松本市近代遺産の所有者向けアンケートの実施について ・令和6年6月28日 松本市近代遺産の所有者向けアンケートの実施について ・令和6年7月9日 歴史的景観都市協議会総会の開催について ・令和6年10月4日 歴史的景観都市協議会総会の開催について			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
屋外広告物の規制			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	屋外広告物は景観を構成する重要な要素であることから、松本の良好な景観への規制・誘導と風致の維持向上を図るため、これまでの県条例から松本市の特性を踏まえた独自の屋外広告物条例を平成21年(2009)2月に施行しました。 松本市の魅力である北アルプスや美ヶ原高原などの山岳眺望と松本城を中心とした歴史的景観を保全するため、屋上広告物や野立て看板の規制を強化するなど、独自条例としての有効性と実効性を確保しています。今後は、条例の周知に取り組むとともに、市民意識の高揚に努め、松本市の多様な景観(自然、山岳、田園、市街地、城下町など)の保全や形成を目指すものとします。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成21年2月の屋外広告物条例施行に伴う、既存不適格広告物の早期是正を目的に、個別に相談や指導の業務を行っている。(個別相談及び指導業務を行った。令和6年度重点区域内改修基数0基)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	平成26年度末をもって改修補助金の制度も終わり、現在は違反処理に移行している。是正指導等のなかで事業者と粘り強く指導して改善を求めていく。		
状況を示す写真や資料等			
重点区域内改修事例		(過去の事例)	
			
			
改修前		改修(色彩基準の適合)	

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

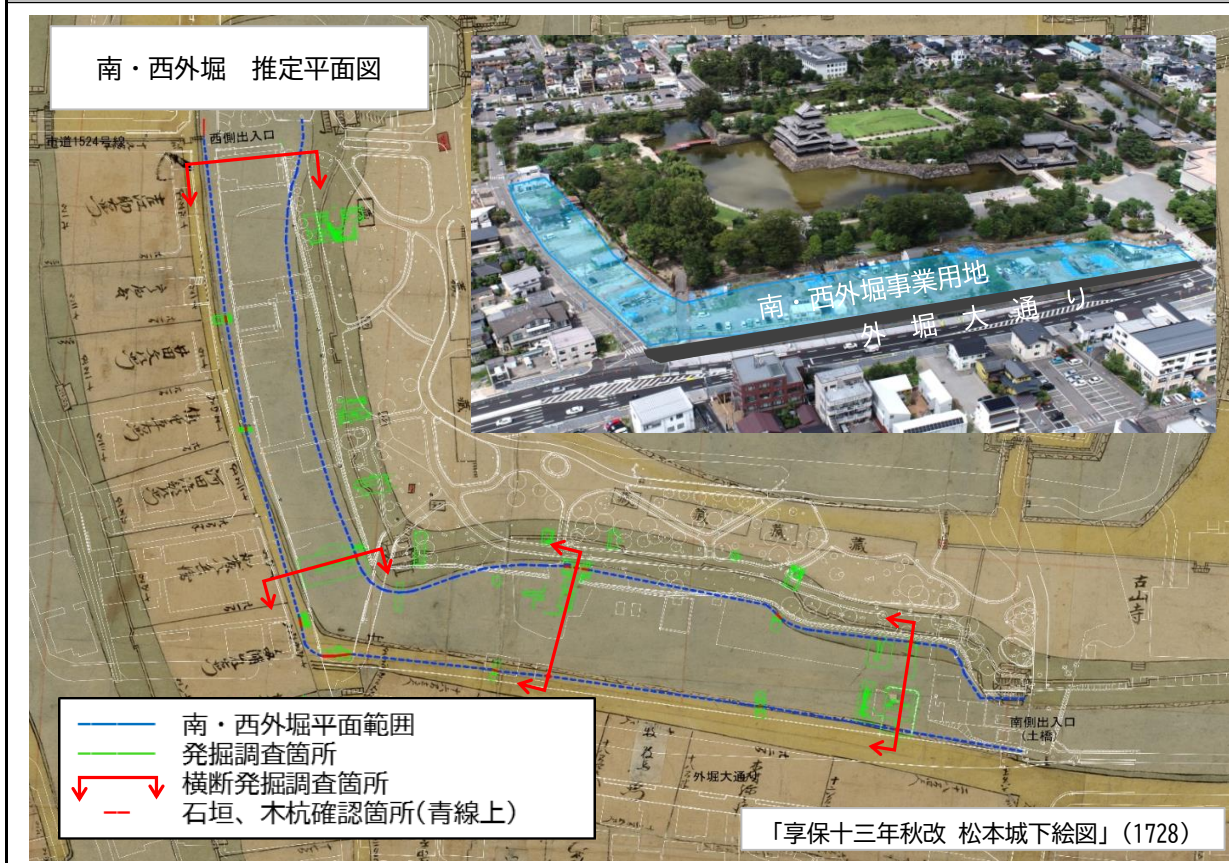
項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
重点区域における景観計画との連携			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	重点区域は平成20年(2008)に策定した松本市景観計画において、歴史的景観区域と中心都市景観区域で構成されています。歴史的景観区域は、国宝松本城、旧開智学校校舎を始め、城下町の歴史的まちなみや、町割を色濃く残す景観要素で構成されている区域です。また、中心都市景観区域は商業施設・業務施設・行政施設が集積し、松本市の中心市街地を形成している区域で、近代的都市景観を形成しています。 景観計画における景観重点地区としては、松本市の象徴である松本城を中心とする「お城地区」(松本城周辺重点地区)、町人地として、城下町の町割が残し、明治期の蔵など歴史的資産が点在し、中町通りに代表される歴史的街並みの保全と復元が図られている「お城南地区」(中町・高砂通り周辺重点地区)を指定しています。 また、平成30年(2018)には歴史的景観区域と中心都市景観区域に中高層建築物を計画する事業者に対し、松本市景観条例に基づく景観事前協議を行うことを義務付け、地域に応じたきめ細やかな景観誘導を図っています。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観計画の行為制限(定性的基準)による景観事前協議制度により、歴史的景観区域、中心都市景観区域で高さ15メートルを超える建物を建等する場合、景観法に基づく届出(又は通知)の120日前(規模により異なる)までに松本市景観条例に基づく景観事前協議の手続きを求め、協議を実施している。(令和6年度重点区域内の協議完了件数:1件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	良好な景観誘導手法として、景観計画や景観計画デザインガイドラインに沿った景観誘導を図ります。		
状況を示す写真や資料等			
  重点区域内協議事例 松本市基幹博物館 (令和元年協議完了事例)			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
松本城南・西外堀復元事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成23年度～令和12年度		
支援事業名	平成23年度～：市単独事業 平成25年度～：史跡購入費国庫補助 平成29年度～：国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金		
計画に記載している内容	大正末期に埋め立てられ、跡地が宅地として利用されていることから、天守が眺望できず、城郭としての歴史的景観が損なわれているため、外堀を整備することにより、周辺からの眺望改善を図ることができます。また、二の丸側の土坡(どは)等を本来のあるべき姿に整備することで、史跡の魅力が一層高まります。 更に、松本城を訪れる観光客にとって重要な位置にある本場所の整備は、周辺の城下町と一体となった回遊性の向上性が図られ、水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上に寄与します。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・史跡指定した事業用地(9, 283㎡)について、関係権利者の理解と協力を得て、用地取得が完了した。(令和6年10月) ・発掘調査を9か所で行い、調査結果と絵図資料から往時の平面形状、断面形状を推定した。(発掘調査は令和5年度までに計25か所)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない		客観的情報を収集するため、発掘調査を継続 復元整備に向けた具体的設計方針を検討	

状況を示す写真や資料等



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
国宝松本城天守等耐震対策事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年度～令和12年度	
支援事業名	平成26年度～：市単独事業	
計画に記載している内容	耐震診断により、概ね震度6強以上の大地震動下では倒壊の恐れがあると判定された天守等について、文化財的価値を損なわない耐震化を進めます。 その結果、城下町の核である松本城が健全な状況に保たれて水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上に寄与します。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
国宝松本城天守の耐震対策工事に向け、耐震対策基本計画策定のための調査や耐震補強内容の検討を行った。 天守構造と石垣の対策について、調査や検討を行った。 検討にあたり、史跡への影響を最小限に抑える工法を検討するための発掘調査を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	国宝松本城天守及び史跡松本城の文化財的価値を損なわない耐震補強や、天守石垣の耐震性能を見据えた耐震対策を実施する必要があるため、国・県や有識者と共に慎重な検討を進める。	
状況を示す写真や資料等		
実施内容 令和6年度の実施内容は以下のとおり。 1 国宝松本城土層確認等調査 耐震対策工法の検討にあたって、史跡松本城への影響を最大限考慮し、史跡への影響を最低限に抑えるために必要な情報を得るための発掘調査やボーリング調査を実施。 2 耐震対策基本計画の策定 上記の調査結果を踏まえ、耐震対策の基本計画を検討。		
		
大天守発掘調査の状況		

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
国宝松本城天守防災対策事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和元年度～6年度

支援事業名 令和2年度～：国宝重要文化財等防災施設整備事業

計画に記載している内容 設置から年数が経過し、老朽化が進む防災設備について、火災の早期発見・早期消火につなげるための更新、新設を行うことにより、城下町の核である松本城が健全な状況に保たれて、水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国宝松本城天守の防災設備の見直しや更新、新たな防災設備の設置を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	既存防災設備の見直しを計画的に進める。 また、設備の設置にあたっては、遺構へ影響を及ぼすことのないよう、史跡の発掘調査等を実施する。

状況を示す写真や資料等

整備内容

1 令和3年度

- (1) 自動火災報知設備の改善
- (2) 自動火災消火設備の設置(スプリンクラー屋内設備)
- (3) 屋内消火栓設備の改善(易操作性設備への変更)
- (4) 屋外消火栓設備の改善(易操作性設備への変更)
- (5) 発掘調査

2 令和4年度

- (1) 屋内消火設備用送水設備(ポンプ室、貯水槽、発電機)の新設
- (2) 電気設備(キュービクル)の更新
- (3) 試掘調査

3 令和5年度

- (1) 既存送水設備の改善(ポンプ室、発電機、既存配管)
- (2) 発掘調査

4 令和6年度

- (1) 既存送水設備の改善(ポンプ室、貯水槽)
- (2) 報告書の刊行



既存送水設備(ポンプ室)改修(防水塗装)状況

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
松本城堀浄化対策事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～令和11年度	
支援事業名	平成30年度～：市単独事業、令和5年度～：国庫補助事業	
計画に記載している内容	堆積物により、堀に十分な水がはれない等の状況を改善し、堀の水質浄化を進めることにより、歴史的な景観の向上と快適な公園環境として、水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上に寄与します。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
松本城の内堀、外堀、総堀に堆積した汚泥等を除去(浚渫)するための工事着手に向け、松本城のお堀に適した浚渫工法の選定を行った。あわせて、浚渫後の水量確保や維持管理について状況を把握するための堀総合調査を行った。全面的な堀浚渫を行うため、実施設計を行った。令和5年度に東総堀の浚渫に着手した。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		市民や観光客への影響を考慮しながら、堀の遺構を痛めることのないよう、松本城の堀に適した浚渫工法を用いて計画的に浚渫作業を実施する。
状況を示す写真や資料等		
1 実施内容 (1) 平成30年度～令和2年度 堀総合調査 (2) 令和2年度 堀浚渫実証実験の実施 (3) 令和3年度 浚渫工法の選定 (4) 令和4年度 実施設計、堀総合調査 (5) 令和5年度～令和11年度 浚渫業務の実施 2 令和6～7年度浚渫作業(南西内堀) (1) 作業面積 8,165㎡ (2) 浚渫土量 7,592㎡		
		令和6年度の浚渫作業の様子
		浚渫予定箇所(平面図)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
国宝旧開智学校校舎耐震改修事業			☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度～令和6年度		
支援事業名	令和2年度～：国宝重要文化財等防災施設整備事業		
計画に記載している内容	歴史的建造物である校舎に耐震対策工事を実施することにより、建造物の保存・活用を図り商都松本の歴史的風致の維持向上に寄与します。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年6月から耐震対策工事を実施し、令和6年10月末に完了した。 令和6年11月に再開館をし、校舎内特別展示室にて耐震工事関連展示を行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 旧開智学校校舎 耐震対策工事の様子①  旧開智学校校舎 耐震対策工事の様子②  旧開智学校校舎 耐震対策工事完了後の様子  旧開智学校校舎特別展示室 耐震工事関連展示			

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
歴史まちづくり事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	平成27年度～令和12年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	近代のまちの歴史を伝え、まちの魅力向上につながる建造物の保全活用の取組みにより、歴史的なまちなみ形成過程を知り、地域の歴史・文化への関心を高めて商都松本の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
令和6年度までに123件を松本市近代遺産として登録し、市ホームページで周知を行った(令和6年度新規登録件数1件、登録廃止1件)。 近代遺産の所有者に対するアンケートを実施し、登録物件の保存活用や情報発信等の意向を確認した(回答率71.0%)。併せて、近代遺産の活用事例を紹介するチラシを所有者に送付し、保存活用の啓発を行った。	

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	近代遺産の認知度が低く、所有者や市民への周知が課題となっている。所有者の意向を踏まえ、情報発信方法を検討する。

状況を示す写真や資料等



令和6年度新規登録物件

アンケート用紙

【9/10 締切】

1 建造物の所有者や利用の状況についてお聞かせください。

問1 現在の所有者について教えてください。(複数選択可)

所有者()

お名前()

ご住所()

電話番号()

メールアドレス()

問2 実際に建造物を利用している人を教えてください。(複数選択可)

☐所有者本人 ☐親族 ☐賃貸人 ☐その他()

問3 建造物の現在の利用用途を教えてください。(複数選択可)

☐住宅 ☐店舗 ☐店舗併用住宅 ☐事務所 ☐倉庫

☐使用していない ☐その他()

2 建造物の保存・活用についてお聞かせください。

問4 建造物が松本市近代遺産に登録されていることを知っていましたか?

☐知っている ☐知らなかった ☐その他()

問5 建造物のどのようなところに魅力を感じますか?(複数選択可)

☐落ち着く ☐まちなみに貢献している ☐誇りを感じる

☐商業利用の面で集客力がある ☐景観がある

☐その他()

問6 建造物を大切に使い続けたいと思いますか?

☐大切に使い続けたい ☐大切にしたいが維持管理が負担で困難

☐大切にしたいと思わない ☐すでに解体予定

☐その他()

問7 将来、自分や家族等が建造物を使用しなくなった場合を想定して、今の所有持ちに

一筆書きのものを遺族していただきます。

☐建造物をできる限り残したい

☐建造物は解体してしまいたい

→遺族を記載してください。

☐今のところ考えはない

☐その他()

【調査方法】
本用紙を同封の返信用封筒に入れて返送いただくか、
右のQRコードからWEBにてご回答ください。

裏面に続きます

近代遺産の所有者に対する
アンケート用紙



近代遺産の活用事例を紹介するチラシ

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

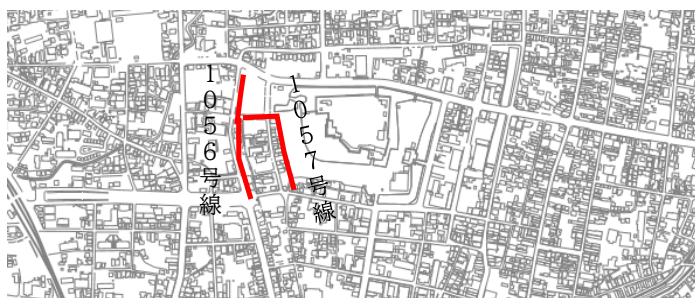
評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
松本城世界遺産登録推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成13年度～令和12年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	松本城が世界遺産登録を目指す中で、建築学・歴史学・考古学などの調査研究や同種資産との比較研究を行い、その最新の研究成果を広く市民に対し情報発信を行います。 それらの活動を通して、松本市民の共通の宝である松本城の恒久的保存、次世代への継承、文化財保護といった意識が醸成され、水めぐる城下町の歴史的風致の維持及び向上に寄与します。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和6年5月に近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会総会を開催し、事業報告等を行いました。 令和6年6月に「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会総会を開催し、事業報告等を行いました。 令和6年10月に第5回3市市民交流会(犬山市・松江市・松本市)を松本市で開催し、市民同士の交流を促進しました。 令和6年12月までに近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会のワーキンググループを2回開催しました。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	松本城の国内暫定一覧表記載に向け、引続き、顕著な普遍的価値の証明に関する調査研究、市民等への普及啓発活動及び県市の推進体制の整備などを実施します。	
状況を示す写真や資料等		
 近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会 令和6年度総会(R6.5.10)  「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会 令和6年度総会(R6.6.4)  令和6年度第1回ワーキンググループ(R6.5.23)  令和6年度 第5回3市市民交流会(R6.10.7～8)		

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
松本城周辺道路整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成29年度～令和9年度		
支援事業名	令和2年度～4年度 都市構造再編集集中支援事業（個別支援制度） 令和5～9年度：市単独事業		
計画に記載している内容	松本城の西外堀復元とも関連するお城周辺の道路環境を改善して交通の円滑化を図り、歩行者・自転車が安全で安心して通行できる空間を整備します。松本城周辺景観形成による歴史的価値の向上により、水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上を図ります。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
関係権利者に対して、用地交渉を実施した。 市道1056号線 6年度末用地取得（11件/11件）完了区間 140m/240m 市道1057号線 6年度末用地取得（4件/6件）			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	平成29年度から用地買収に着手し、引き続き地元の理解と協力を得て意見を伺いながら慎重に進めている。		
状況を示す写真や資料等			

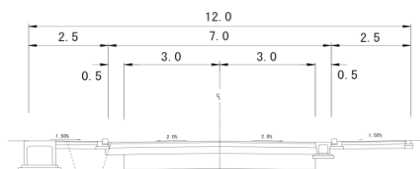
状況を示す写真や資料等



市道1056号線
道路改良 L=240m
W=12.0～15.0m

標準横断面図

標準断面図



整備前



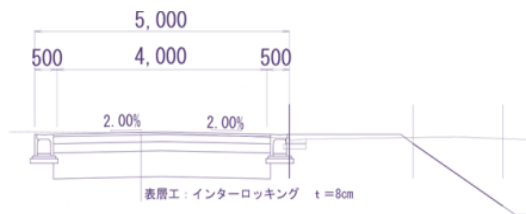
整備後



R4年度 140m/240m完成

市道1057号線
道路改良 L=250m
W=5.0m

標準横断面図



事業実施箇所



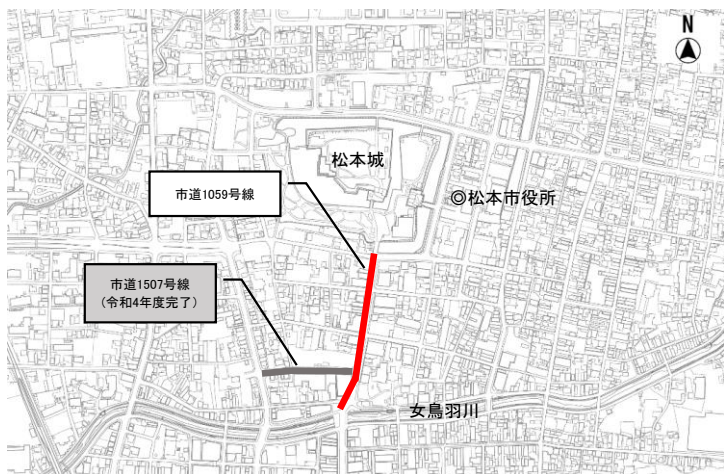
評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
市役所庁舎建替事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～12年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	現市役所庁舎の一部は、高度地区に定める高さ制限の既存不適格建築物となっています。 市役所庁舎の建替えにより、まちなみ景観を向上させて水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上を図ります。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和3年度 新庁舎建設の基本的な考え方などについて、庁内検討及び協議 令和4年 1月12日 基本的な考え方、具体的な案などについて、市議会議員協議会で協議 12月14日 市議会議員協議会で再協議(継続協議と集約) 令和5年12月18日 市議会議員協議会で再協議(継続協議と集約) 令和6年 6月24日 市議会議員協議会で新庁舎建設基本計画を見直すことについて協議(了承と集約) 7月30日 市役所新庁舎建設特別委員会で具体的な見直しに向けた今後の進め方等について報告 12月 2日 市役所新庁舎建設特別委員会で見直しの要点の1つである第2段階の保健所整備の方向性、それを踏まえた新庁舎の規模設定の考え方等について協議(保健所を南松本に設置することは了承と集約)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	市役所庁舎建設事業は、議会協議で令和2年2月に策定した新庁舎建設基本計画を見直すことについて了承されたことから、具体的な見直し作業を行っています。 事業期間も見直す中、引き続き、議会との協議、市民の皆さまへの説明を重ねながら、建設計画の進捗を図ります。 設計・建築にあたり、高度地区に定める高さ制限を遵守します。	
状況を示す写真や資料等		
		
現市役所庁舎 高さ制限を超過している		

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
松本城を中心としたまちづくり事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成30年度～令和12年度		
支援事業名	令和2年度～4年度 都市構造再編集集中支援事業(個別支援制度) 令和5年度～ 市単独事業 令和6年度～10年度 都市構造再編集集中支援事業(高質空間形成施設)		
計画に記載している内容	松本城の南側に位置する当該地域を総合的に整備して、景観に配慮した良質な歩行者空間を提供し、まちの賑わいを創出します。 松本城周辺の景観形成による歴史的価値の向上により、水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上を図ります。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○土手小路(市道1507号線):博物館と一体のゆとりある歩行環境を創出し「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を整備 ・平成30年度 測量及び詳細設計、土質調査を実施 ・令和3～4年度 道路整備工事(高質化工事)を実施済み(L=182.9m, W=12.0m)			
○大名町通り(市道1059号線):滞留空間を備えた「界隈の魅力が滲み出す人中心のシンボルロード」を目指し整備予定 ・令和5年度 測量及び土質調査、沿道町会主催の大名町道路活用整備委員会(以下、委員会)を10回(/年)実施 ・令和6年度 令和6～7にかけて景観検討を含めた道路詳細設計、デザイン検討の委員会を8回(/年)実施			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		令和3年度に策定した松本城三の丸エリアビジョンに掲げる大名町界隈の将来像実現に向け、沿道店舗等による道路空間活用、活用に合わせた道路空間再配分、道路高質化整備を予定している。令和7年度は道路詳細設計を完了し工事に着手する。	
状況を示す写真や資料等			
  国宝松本城周辺の将来像 「松本城三の丸エリアビジョン」で示した「大名町通り」			
 人中心のシンボルロードとして生まれ変わる国宝松本城の登城道「大名町通り」 市道1059号線(大名町通り) (L=300m W=16m)			
 歩車道フルフラット化の社会実験			

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和6年度	
評価対象年度	現在の状況
項目	景観計画推進事業
	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成20年度～令和12年度
支援事業名	令和2年度 景観改善推進事業(景観計画改定)、令和3年度～ 市単独事業 令和4年度 景観改善推進事業(景観計画デザインガイドライン改定)
計画に記載している内容	景観計画の改定を行い、より良好な景観形成への誘導を図ることにより、歴史的まちなみ景観が向上して市内全域の歴史的風致の維持向上に寄与します。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
国宝に指定された旧開智学校校舎を中心に、旧開智学校への眺望景観の保全と回遊を楽しむ景観づくりを進めるため、令和6年度より松本市景観計画の改定に着手した。景観重点地区への指定を視野に、課題の整理や景観誘導の方向性・手法について検討していく。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	松本市景観計画改定に向けた検討を進めるにあたり、地域住民・事業者との調整を図りながら進めていく。
状況を示す写真や資料等	

松本市景観計画 基本理念

暮らし・自然・歴史つむぐ、景観都市まつもと

暮らし

暮らし・生活の一部である景観に愛着と誇りを持ち

自然

自然豊かな環境に感謝するとともに

歴史

先人たちが築いた歴史ある景観に敬意をあらわし

次世代へ引き継ぎます。

松本市景観計画 9つの基本方針



①山岳部の景観を守り育てる



②農山村景観を守り育てる



③歴史的景観を守り育てる



④市街地の景観を守り育てる



⑤河川景観を守り育てる



⑥地域にふさわしい道路景観を創出する



⑦落ち着いた住環境を創造する



⑧眺望景観を守る



⑨パ・トナークで景観づくりに取り組む

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
空き家対策事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～令和10年度

支援事業名 令和2年度～10年度 空き家対策総合支援事業

計画に記載している内容 空き家対策の促進により、歴史的建造物の滅失を防いで歴史的まちなみ景観を保全することにより、市内全域の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

空き家バンクに物件を掲載することにより利活用を促進している。(R6.11月現在 掲載物件27件)
 空き家バンクのホームページ閲覧数 (R5.4月～R6.3月 閲覧数34,648)
 老朽化した空き家が危険な状態である場合に解体費の補助を行っている。(R6.11月現在 累計49件)
 松本市内の空家等対策計画における想定空家の数 (R5.7月現在 空家数2,153戸)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

空き家は今後も増加傾向にある。
 空き家問題の意識醸成を図り、所有者自身による適切な管理を促進する。空き家バンクへの掲載物件が増えるよう、公式SNS等を活用し、物件所有者に対して周知を図る。そのうえで、除却・利活用の際には、歴史的建造物であるかどうか、という視点も必要と考える。

状況を示す写真や資料等



松本市空き家バンクサイトのイメージ



市内の老朽化した危険な空き家のイメージ

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
文化財記録保存事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成20年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	今後失われたり、変容するおそれのある文化財を記録の上で保存し、その成果を公開することにより、次世代への伝承と市民への情報発信ができ、市内全域の歴史的風致の維持向上に寄与します。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
約40年ぶりに再開した祭礼や、例大祭の民俗調査を実施した。 解体予定の公共施設の記録保存調査を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	案件ごと、引き続き調査を進めていく。		
状況を示す写真や資料等			
 四賀地区 春日神社の鳥刺し舞  梓川地区 大宮熱田神社例大祭  松本市博物館旧館 記録保存調査  梓川地区 旧梓村小学校校舎 記録保存調査			

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
市民学芸員養成講座		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和12年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	「松本まるごと博物館構想」の実現に向け、博物館を拠点に地域を学び情報発信し、活動の中心となる人材として市民学芸員を養成することで、松本市の歴史・文化を継承し、市域の歴史的風致の維持向上に寄与します。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
1 第13期市民学芸員養成講座を6～2月まで全9回で開講し、養成を行っています(6人受講)。常設展示のテーマ展示の一つである「松本の温泉」について学び、受講者自ら、興味をもった箇所を調査・発表します。 2 受講修了生が、七夕・犀川通船・蚕・町名など個別のテーマに応じてグループを作り、調査・研究を進めています。研究成果は、3月開催の博物館まつりで発表されます。 3 調査・研究を基に講座を実施しています。11月29日・30日、12月1日には全国博物館大会の独自企画として七夕の会・お蚕組などがワークショップを実施しました。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	養成講座の講師を修了生に任せるなど、市民学芸員の活動の場を拡大していきます。	
状況を示す写真や資料等		
 令和6年7月7日 大塚先生講演会  令和6年7月21日 白骨見学 養成講座 講座の様子		

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
松本城学びと研究事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成23年度～令和12年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	松本城や城下町を「体験」「学習」の場として捉え、『松本城でなければ学べない、松本城だから学べる』をコンセプトとした学習会等を開催して、子供や市民の学習意欲に応えます。 また、これらの活動を通じて松本城や城下町の歴史、伝統行事、文化財保護の考え方を学ぶことにより、意識の高揚が図られ、市内全域の歴史的風致の維持向上に寄与します。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
松本市が保管する火縄銃について学習する松本城講座(令和6年11月4日)や、松本城の三の丸や城下町を見学する夏休み子ども勉強会(令和6年7月27日)等を開催した。 また、天守床磨きなどのボランティア活動の中で、天守建造物や史跡などの重要性を学ぶ機会を提供を計画した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	松本城を後世に残し伝えるために、松本城や城下町を「体験」「学習」の場として、歴史や伝統行事、文化財保護の考え方を学べるような機会を創出する。	
状況を示す写真や資料等		



松本城講座の様子
11月4日開催
参加者36名



夏休み子ども勉強会の様子
7月27日開催
参加者17名

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
文化財の保存・活用について			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	松本市は、市域全体の文化財を指定・未指定を問わず総合的に把握し、保存活用を図る文化財保護のマスタープランとして平成29年(2017)度に「松本市歴史文化基本構想」を策定しました。さらにこの基本構想を基に、平成30年(2018)度に「松本市文化財保存活用地域計画」を策定し、令和元年(2019)度に国の認定を受けました。松本市歴史文化基本構想及び松本市文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の適切な保存・活用を図ります。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
松本市文化財保存活用地域計画に基づく文化財活用事業であるまつもと文化遺産の保存活用団体に補助金を2件交付した。また、バス見学会まつもと文化遺産「近代今井の象徴」を開催し、12名が参加した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 バスツアー まつもと文化遺産「近代今井の象徴」			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
文化財の修理について			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の区分に応じ、文化財保護法や関係条例の規定を遵守し、また、必要に応じて文化庁、長野県、松本市文化財審議委員、学識経験者等の指導・助言を仰ぎながら、適切に文化財の保存・管理を実施します。 個人所有の指定等文化財に対する修理については、計画的に補助金の交付を行い、所有者の負担軽減を図るとともに、適切な修理内容となるよう支援します。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
長野県宝里山辺お船祭りのお船(兎川寺町会)、長野県天然記念物梓川のもみ、松本市特別天然記念物古池氏の屋敷林、松本市重要文化財西善寺の彈誓上人立像、南方諏訪神社本殿の計5件に対して補助金を交付した。また、史跡松本城の太鼓門の修理を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	多額の費用がかかるため、実施期間の延長や修理方針の変更等が生じている。		
状況を示す写真や資料等			



長野県天然記念物 梓川のもみ
腐朽部の伐採



松本市重要文化財 南方諏訪神社本殿
屋根葺き替え

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況

文化財の保存・活用を行う施設について

☐ 実施済
☒ 実施中
☐ 未着手

計画に記載している内容

松本市は、平成12年(2000)に「松本まるごと博物館構想」を策定し、松本市立博物館を中核施設として松本市全体を屋根のない博物館と考えて事業を展開しています。本館のほかに文化財建造物の活用を含め15の分館を設置し、博物館活動を通して文化財の保存活用を進めています。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 1 松本市立博物館が10月7日に移転・開館し、収蔵資料の公開を再開しました。
- 2 松本市立博物館で事業を実施しました。主な事業は、下記のとおり。
 - (1)4月20日(土)～6月17日(月) 松本市立博物館企画展「収蔵品展 戸田家臣団—松本藩最後の武士団—」
 - (2)7月6日(土)～9月2日(月) 松本市立博物館企画展「生物多様性と松本—すぐとなりにあるワンダーランド—」
 - (3)10月5日(土)～12月8日(日) 松本市立博物館特別展「和食—日本の自然、人々の知恵—」

進捗状況 ※計画年次との対応

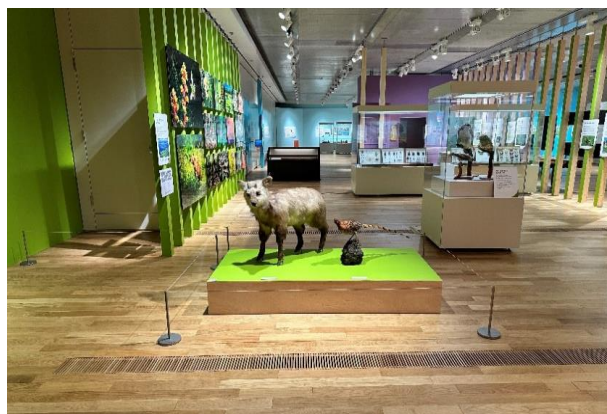
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒ 計画どおり進捗している
☐ 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



企画展「収蔵品展 戸田家臣団—松本藩最後の武士団—」



企画展「生物多様性と松本—すぐとなりにあるワンダーランド—」

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
文化財の防災について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財のハード・ソフト両面での防災のための整備等を進めるとともに、日常的な管理における防災を徹底します。また、個人等が所有する文化財については、防災・防犯に関する情報を周知し、日常的な維持管理を始めとした対策について協力を仰ぎます。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国宝松本城天守、国宝旧開智学校校舎等で、1月26日の文化財防火デー等に消防訓練を行った。 市が管理する文化財建造物は、防災・防犯のため、夜間巡回警備、来場者への啓発・注意喚起の掲示等を実施。民間所有の指定・登録文化財は、長野県教委、市教委が実施している文化財パトロールの際、防災、防犯の状況を確認した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		ソフト・ハード両面の防火、防災体制の強化が必要であるため、引き続き、耐震・防火対策を推進する。	
状況を示す写真や資料等			

文化財防火デー消防訓練



重要文化財 馬場家住宅



国宝 松本城天守



国宝 旧開智学校校舎



重要文化財 田村堂

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
鉄道貯水槽を撤去 SL時代の「モニュメント」に		R6.10.5	MGプレス
豊かな湧水たたえる堀に		R6.11.18	信濃毎日新聞
宮海道堰堤石積みに驚き 入山辺公民館が見学会		R6.12.22	市民タイムス
段差なく歩きやすい街に 松本 大名町通りで実証実験		R6.12.23	市民タイムス

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内の文化財等とその活用(観光、地域づくり等)に関する関心が高まっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



MGプレス(令和6年10月5日)



信濃毎日新聞(令和6年11月18日)



市民タイムス(令和6年12月22日)



市民タイムス(令和6年12月23日)

評価軸⑥-1

その他(効果等)

評価対象年度

令和6年度

項目

歴史まちづくりの効果について

計画に記載
している内容

本計画における歴史的風致維持向上施設の整備及び管理等は、歴史的風致を構成する建造物の保存・活用、歴史的風致の維持向上に資する環境の維持・形成、歴史的風致への理解を促すための事業等により実施します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史的風致維持向上施設の整備の進捗により、中心市街地の主要な通りの歩行者通行量は微増傾向にある。但し、当該指標は調査日の天候に左右され、H25、29年度は雨天、R元年度は曇天で気温が上がらなかったため、R2、3年度は新型コロナウイルスの流行による影響を受け歩行者通行量が減少していた。

R6年度は、松本城に向かう歩行者の多い大名町とともに、松本市近代遺産の建造物を活用し7月に開館した民間施設「上土シネマミュージアム」が立地する上土町の対前年度比の歩行者通行量増加率が高くなった。

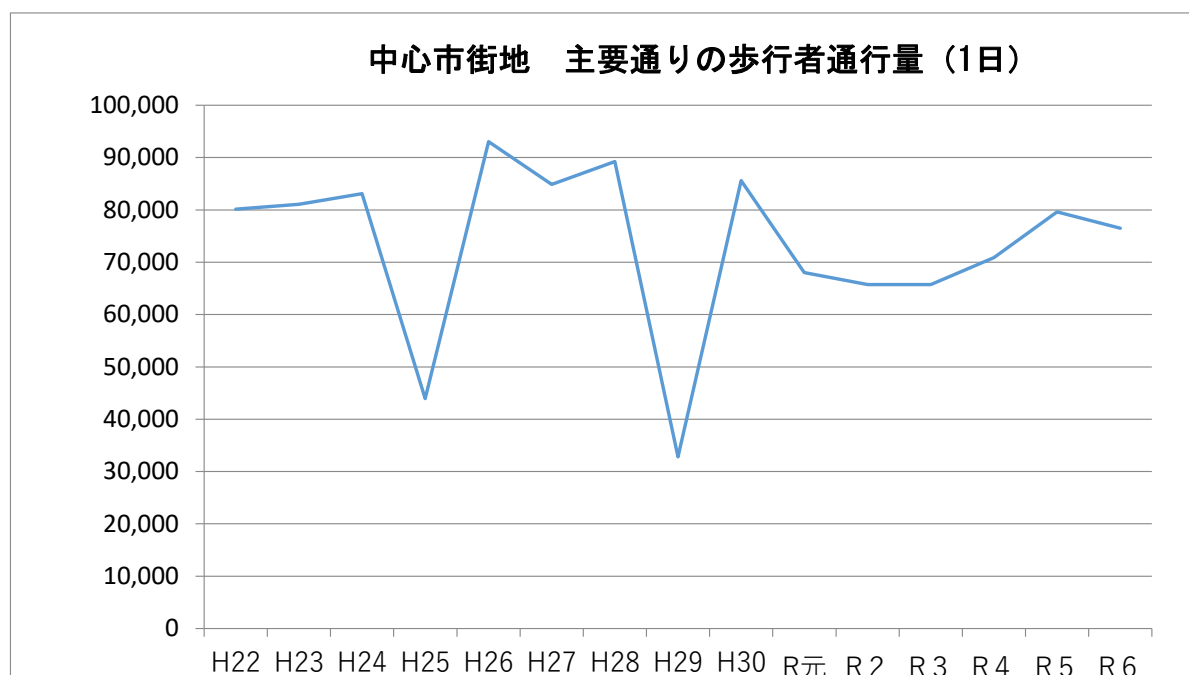
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
中心市街地 主要通りの 歩行者通行量 (1日)	80,114	81,076	83,098	43,948	93,043	84,862	89,235	32,810	85,571	68,016	65,711	65,743	70,869	79,616	76,506
前年対比		1.2%増	2.4%増	47%減	111%増	8%減	5.1%増	63%減	261%増	21%減	4%減	0.05%増	7.7%増	12.3%増	3.9%減

※上土町、大名町、緑町、大手通り、西堀町、六九町、縄手通り、伊勢町、中町、公園通り、駅前通りにおいて計測した34地点の歩行者通行量を集計。

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和6年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 松本市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時： 令和7年2月13日 10時00分から11時30分まで	
(コメントの概要) (1) 「庁内部局間の連携」に関して、文化財課が市長部局の文化観光部に移管されることで、観光的な要素が強まり、従来の文化財保存業務に支障が出ないようにすることを求める。 (2) 「松本城周辺道路整備事業」に関して、本来の登城ルートである太鼓門へ観光客が自然に流れるような道路整備を求める。 (3) 「空き家対策事業」に関して、「歴史まちづくり事業」の松本市近代遺産と関連するような内容となることを求める。 (4) 「文化財の防災について」に関して、取組内容がより伝わる写真を掲載するなど評価シートの改善を求める。 (5) 「歴史まちづくりの効果について」に関して、中心市街地の歩行者通行量は調査地点別の計測データで進捗評価する方が良い。 (6) 松本城三の丸エリアビジョンの取組みについて、本計画の事業と関わりがあるのであれば、本進行管理・評価シートで進捗を記載すると良い。	
(今後の対応方針) (1) 「庁内部局間の連携」に関して、外部からも忌憚のない意見をもらいながら、従来と同様に文化財保存業務にきちんと取組む。 (2) 「松本城周辺道路整備事業」に関して、現在は来訪者を太鼓門へ誘導する看板の設置を行っており、道路整備は将来的に取組むことを検討する。 (3) 「空き家対策事業」に関して、「歴史まちづくり事業」の松本市近代遺産に限らず、広く歴史的建造物の利活用を推進するよう取組む。 (4) 「文化財の防災について」に関して、評価シートに写真を追加して取組内容がより伝わるよう改善する。 (5) 「歴史まちづくりの効果について」に関して、適切なタイミングで評価指標の見直しを検討する。 (6) 松本城三の丸エリアビジョンの取組みに関しては、2期計画策定後に開始したものであることから、今後、適切なタイミングで本計画の見直しを検討する。	